

# 経済部文化観光局観光課

## 1 観光振興対策

### (1) 米子市観光協会事業活動に対する助成

米子市の観光振興及び皆生温泉エリアのブランディング向上を図るため、米子市観光協会の事業活動への助成を行うとともに、その実施について協力した。

#### ア 重点事業

##### (ア) 皆生温泉の魅力づくり事業及び誘客事業

###### a 皆生温泉開発100周年記念宿泊キャンペーン及びInstagram投稿キャンペーンの実施

期 間:令和2年6月・9月(2ヵ月間)⇒(変更)3年3月～6月(4ヵ月間)

内 容:皆生温泉の宿泊者及びInstagram投稿者を対象に抽選して、「皆生温泉ペア宿泊券」や「山陰の特産品」を抽選で100名へ進呈

###### b 「カイケジャンボリー2021 WINTER」開催への協力

期 日:令和3年1月29日～2月14日

場 所:皆生温泉海岸(海水浴場エリア)

関係団体:株式会社メリット、米子市、皆生温泉旅館組合、米子市観光協会

内 容:冬季の皆生海岸において、30m級の巨大なクジラ等、数種類の多彩な海洋生物のカイト(凧)が空に浮かぶ「空の水族館」、ドーム型のテントに炬燵で飲食が愉しめる「UMICOTA」、砂浜のテントサウナで身体を整える「砂浜のサウナ」等、非日常空間を堪能できるイベントを実施

来場者:約15,000人

###### c 皆生温泉開発100周年記念ロゴマーク活用事業

内 容:皆生温泉エリア・皆生海岸等で楽しめるアクティビティ体験をイメージしたポスターを作成し、市内の宿泊施設等へ配布

作成部数:300枚

###### d 皆生温泉開発100周年オリジナルポロシャツの作成・販売

内 容:開発100周年記念ポロシャツを作成し、皆生温泉旅館スタッフ・行政・地元企業等のユニフォームとして着用

##### (イ) 皆生温泉ニューツーリズム創造事業

ほめ達セミナーin 皆生温泉の開催

期 間:令和3年1月29日 参加者:31人、令和3年3月16日 参加者:25人

場 所:米子市観光センター

内 容:一般社団法人日本ほめる達人協会との連携により、主には観光関係者(宿泊施設、交通事業者等)を対象にセミナーを開催

##### (ウ) 皆生海岸を活用した海のアクティビティ拡大事業

皆生温泉マリンアスレチック海皆-KAI・KAI-実施への継続協力

期 間:令和2年7月23日～8月23日

場 所:皆生グランドホテル天水、華水亭砂浜

内 容:ジャンボスライダー、巨大トランポリン、スプラッシュブランコなど、10以上のアトラクションを搭載した遊具や、砂浜に幼児用のちびっこアスレチックやぷかぷか遊具を設置

来場者:8,786人

(エ) 皆生温泉マリンフェスティバル(仮称)の実施

期 間:令和2年9月5日～9月6日

内 容:皆生温泉のフィールド及びサイクリングロードを活用した体験イベントを実施する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により体験イベントを中止し、予算を縮小し情報発信事業として当圏域のアクティビティ紹介動画及びホームページを作成した

(オ) 米子城跡の利活用及び魅力発信事業

a 春の米子城跡ライトアップの期間中、ナイトウォーク及び夜景イベントの実施

中止:新型コロナウイルスの影響のため

b 米子桜まつり、米子城フェスタイベントに合わせ、「米子 城ヨガ」を開催

中止:新型コロナウイルスの影響のため

c 米子城初日の出イベントへの協力

中止:天候不良のため

(カ) 中心市街地賑わい創出事業

a 山陰歴史館を活用した新たな客層への集客イベントの実施

中止:新型コロナウイルスの影響のため

b 中心市街地の新規店舗、チャレンジショップ等の情報発信

内 容:新規出店チャレンジャー大賞受賞者「境港かに食堂」を米子市観光協会Facebookページ等で紹介

イ 情報発信事業

(ア) 報道機関等を利用した観光宣伝

a テレビ・ラジオ番組に出演し、皆生温泉や各種イベント、特産品等の紹介を行った。

b 雑誌・新聞の取材に対応した。

(イ) ホームページによる情報発信

観光協会のホームページ「米子観光ナビ」や公式Facebook、Instagramにおいて、米子市の観光PRを行った。

「米子観光ナビ」閲覧数:490,894(令和2年1月～令和2年12月)

公式Facebookページフォロワー数:6,181(令和3年3月現在)

公式Instagramフォロワー数:2,367(令和3年3月現在)

ウ 各種イベントの開催

観光客誘致と地域活性化を図るため、イベントの実施または開催協力を行った。新型コロナウイルス感染拡大のため多くのイベントは中止・規模縮小となった。

(ア) 米子桜まつり

中止

(イ) 皆生・大山SEA TO SUMMIT

中止

(ウ) 再生神話の郷マラニック

中止

(エ) 中海オープンウォータースイム

中止

(オ) 皆生温泉海水浴場を開設

期間 7月23日～8月16日

(カ) 皆生温泉マリンアスレチック海皆-KAI・KAI-

期間 7月23日～8月23日

(キ) 全日本トライアスロン皆生大会

中止

(ク) CATCH the STAR星取県「プラネタリウムin皆生温泉」

中止

- (ク) サイクルカーニバル in YODOE 中止
- (コ) 米子市民大茶会 中止
- (ク) 農と食のフェスタinせいぶ 中止
- (シ) よなご歩き愛ですウォーキング 中止

エ 観光商品造成事業

「大人達の社会見学」

期間：令和2年4月～令和3年3月

見学施設数：16施設

利用数：15件/233人（前年度130件/3,190人）

オ 指導育成・研修事業

優良従業員の表彰

表彰者 観光功労者1人 優良従業員20年勤続表彰13人 10年勤続表彰15人

カ 首都圏対策事業

米子観光情報説明会・意見交換会の開催

内容：皆生温泉開発100周年の年にあたり、任命式及び意見交換会を皆生温泉で開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。令和2年度「米子ふるさと観光大使」に予定していたMALTA氏、木村（松村）晃子氏は令和3年度に任命予定

(2) 観光案内業務

ア 米子市国際観光案内所での観光案内業務

◇年間利用状況

宿泊案内	観光案内	交通案内	地理案内	その他	合計
187件	1,943件	1,016件	121件	3,056件	6,323件

イ 米子市国際観光案内所の移転オープン

JR米子駅改修工事に伴い米子グルメプラザ内へ移転

移転日：令和2年9月25日

内容：「鉄道の街 米子」として、全国で唯一、米子支社のみが当時(国鉄)の色彩(朱色5号)を維持しているキハ47形のカラーリングが施された施設外観と山陰地方で最初に築かれた近世初期の城郭である「米子城跡」をイメージした内装の案内所として移転オープン

(3) コンベンションの誘致

本市へのコンベンション誘致を促進するため、(財)とっとりコンベンションビューローに対し、運営費、大会開催支援補助金等の交付を行い、その活動を積極的に支援するとともにその活用を図った。

(大会開催支援補助金交付実績)

件数	参加者数	延宿泊者数	交付額 (米子市負担額)
1件	96人	156人	200,000円 (100,000円)

(4) 観光関連団体との連携

日本観光振興協会、山陰観光連盟、鳥取県観光連盟、中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会

等の観光関連団体との連携を密にし、本市観光振興を図った。

(5) 郷土芸能の保存、育成

米子がいな太鼓、米子がいな万灯の保存、育成を図った。

(6) 大山の美化、遭難防止活動等への協力

大山国立公園協会、大山の美化を推進する会、大山遭難防止協会等を通じて、大山の美化、自然保護等と遭難防止活動に協力した。

(7) 皆生温泉にぎわい創出事業

ア 観光宣伝事業の推進

Webを中心にした旅館案内、100周年記念事業の情報発信や、信用金庫グループへのビデオメッセージ、宣伝ツールの送付等、ウィズコロナ、アフターコロナを視野に入れた観光宣伝を実施した。

イ 街並み活性化事業の推進

足湯、観光センター周辺等の立ち寄りスポットの維持管理を行うとともに、オリジナル商品の開発や街並み美化に取り組んだ。

ウ にぎわいイベントの実施

コロナ感染防止のため、大規模な集客イベントは見合わせ、感染拡大防止対策を講じながら以下の事業を実施した。

(ア) 安部朱美人形展&淀江傘展（10月3日～11月29日）

(イ) 伯耆書院展～皆生温泉ものがたり～（3月5日～9日）

(8) 皆生みらいの灯りコンセプト検討事業

皆生温泉まちづくり会議事務局として、ライティング専門家監修のもと皆生の温泉情緒あふれる夜景の創出を目的とした現地視察、勉強会、実証実験、講演会等を官民共同で実施した。

6月 8日 専門家によるあかり観察まち歩き（現地視察）

9月25日 皆生温泉の灯りを考える勉強会

2月 9日 皆生みらいの灯りコンセプト骨子講演会

3月20日～21日 KAIKE AKARI PARK（実証実験）

(9) 米子に泊まろう！宿泊応援キャンペーン事業

新型コロナウイルス感染症により売上減少等の影響を受けている市内宿泊施設に対する支援を目的とし、市内宿泊施設の利用促進を図る宿泊助成キャンペーンを実施した。

・宿泊業緊急支援事業 6月16日～7月31日 利用人数 27,214人

・米子に泊まろう！宿泊応援キャンペーン 10月15日～12月25日 利用人数 16,153人

・米子に泊まろう！宿泊応援キャンペーン第2弾 12月28日～1月11日 利用人数 7,569人

・米子に泊まろう！宿泊応援キャンペーン第3弾 2月5日～3月31日 利用人数 9,089人

(10) 大山山麓・日野川流域観光推進協議会における 広域観光の推進

圏域の観光振興組織である「大山山麓・日野川流域観光推進協議会」に、令和2年4月、新たに倉吉市と琴浦町が構成員として加入し、これまで以上に広域での一体的な連携・取組みが推進できる体制が構築された。本協議会においては昨年度から引き続き米子市長が会長を務め、鳥取県・米子市が共管で事務局を担いながら、民間事業者とも連携を深めつつ、各地における観光施設や宿泊、飲食店などの観光産業の収益につながるよう各事業を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、一部事業の中止や延期など、当初計画の変更を余儀なくされるものもあったが、新しい生活様式に則した事業執行を実施した。

また、観光庁及び国税庁の調査事業の採択を受け、インバウンドの多角化誘客促進や酒蔵ツーリズムの推進事業など、これまで大山山麓・日野川流域観光推進協議会として着手していなかった分野の事業にもチャレンジし、新たな観光素材の掘り起こしや磨き上げを実施した。

#### ア 構成自治体

米子市、境港市、南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、江府町、日野町、  
日南町、倉吉市（新規加入）、琴浦町（新規加入）、鳥取県西部総合事務所

#### イ 主な実施事業

##### (ア) 大山山麓クイズでGO!

観光施設等に設置したQRコードからクイズを読み取りエリアクリアを目指すデジタル版クイズスタンプラリー。期間中（10～12月）のエリアクリア者数は、5,808人。前年度の「謎解き宝探し」参加者6,179人(R1)から減少はしたものの、コロナ禍であっても圏域全体において広域観光周遊を促進するとともに、各スポットにおいて割引クーポンを発行するなどにより消費を喚起させる仕組みとして実施。

##### (イ) 観光周遊タクシー

新型コロナウイルス感染症により運休したループバスに代わり、令和2年8月から11月23日までの期間において、米子駅、大山寺、境港駅から鳥取県中西部圏域の各観光施設等へ周遊するコースを31コース設定し、料金を1台1,000円として実施。期間中1,059台の運行があり、半数以上は大山周遊コースであったが、その他圏域全体に送客することができた。

##### (ウ) 「サイクリスト聖地化」事業

鳥取県西部の7商工会が展開する魅力発信プロジェクト「大山時間」と連携し、中西部圏域でのプロガイドの育成講座の開催や、各市町村におけるサイクリングコースの設定に向けた試走会などを実施した。自転車を使って圏域の小規模事業者等に立ち寄り、飲食・体験・物品の購入などによる経済効果がうまれることでサイクリストへのおもてなしの機運も高まってきている。また、ガイド育成講座に参加した者が、サイクリングツアー企画催行をする者などガイドの育成にも効果も見え始めている。

##### (エ) 酒蔵ツーリズム推進事業（国税庁調査事業）

「DAISEN HAKKO PROJECT」の名称のもと、西部圏域の4つの酒蔵を中心に、圏域のお酒や酒蔵を地域の稼げる観光コンテンツの一つと捉え、観光商品としての価値を高めるとともに、ここにしかない自然や周辺観光素材との組み合わせによるオリジナルのツーリズムを作って行こうとしたもの。今年度はまず酒蔵自体の磨き上げとして、モニタープログラムの実施を通じて酒蔵見学のレベル向上を図るとともに地域内における大山圏域のお酒の認知度向上のために講演会や勉強会を開催した。

##### (11) 米子市、境港市、安来市、松江市、出雲市の5市との連携

平成31年2月に設立承認された「中海・宍道湖・大山圏域観光局」と連携し、圏域内周遊観光促進事業として、「インスタグラムハッシュタグキャンペーン」、「山陰湯めぐりスタンプラリー」、「うんぱく三城めぐりキャンペーン」などを実施したほか、国内での観光プロモーションとして、例年行っている三大都市圏に加え、山陽方面や東北・静岡方面への情報発信を行い、認知度向上と観光誘客を図った。

##### (12) 中海・錦海かわまちづくり計画の推進

国・県・市の3者協調事業である「中海・錦海かわまちづくり計画」について、令和5年度末整備完了に

に向けた協議を進めた。

(13) 地域おこし協力隊

これまで在籍する2名の隊員に加え、本年度、新たに1名を採用し、合計3名により活動を行った。1名は、城下町エリアを中心に活動を行い、地域の人々と連携しながら、加茂川沿いでの淀江和傘を活用したライトアップイベント「白壁土蔵ライトアップ」や、米子城跡でのイベント「石垣ナイトシアターin米子城跡」を開催した。もう1名は、FacebookやTikTok、中国版TikTok「抖音」による国内外への情報発信を行い、鳥取県西部圏域の広域での観光振興を図った。もう1名は、大山山麓・日野川流域観光推進協議会や西部商工会などと連携し、サイクリスト聖地化事業などのスポーツを切り口としたアクティビティによる観光振興を図った。

(14) 米子市ロゴマーク・イメージキャラクターの活用

ア イベント等への貸出

ヨネギーズの着ぐるみを各種イベントに13回貸し出した。

イ 印刷物・キャラクターグッズとしての活用

米子市が発行する各種印刷物や職員の名刺・名札に活用されているほか、市内事業者、市民などに合計54回活用された。

ウ その他の活用

(ア) 昨年に引き続き、職員の福利厚生とヨネギーズの知名度アップを目的に作成していた通称「ヨネギーズポロシャツ」を福祉の店おおぞらから販売されるように調整を行った。

(イ) ヨネギーズの知名度アップなどを目的に手提げ袋・ホッカイロを作成した。

2 観光施設の整備及び管理

(1) 米子市観光センターの管理運営業務

ア 山陰観光の拠点として、昭和58年4月から利用開始。平成18年度から指定管理者制度を導入し、引き続き皆生温泉旅館組合に管理運営業務を委託している。皆生温泉の観光案内、旅館のあつ旋、各種集会室の使用許可、バス発着場など観光客及び地域住民の幅広い利用を図った。

イ 年間利用状況（テナント、広告看板、バス停利用を除く）

(ア) 観光案内 5, 195件、12, 023人

(イ) 施設利用

区分	多目的ホール	会議室	料理研修室	和室	第1展示ホール	第2展示ホール	第3展示ホール	合計
件数	261件	457件	4件	219件	365件	0件	365件	1,671件
人員	4,430人	3,870人	30人	1,120人	0人	0人	2,560人	12,010人

ウ 米子市観光センター指定管理委託先 皆生温泉旅館組合

指定管理委託料 2, 518, 000円

(2) 米子コンベンションセンター管理運営業務

ア 米子コンベンションセンター（米子国際会議場を含む）を鳥取県と米子市が共同で管理運営を行い、利用者への応接や利便性の向上に努めた。

イ 米子国際会議場指定管理委託先 公益財団法人とっとりコンベンションビューロー

指定管理委託料 68, 272, 874円

[米子国際会議場利用状況]

催し 物件数	集 会			展 示 会	音楽・芸能	その他	計
	大 会 式 典	講演会 説明会	会 議	展示会 見本市	0 件	0 件	3 6 件
	3 件	5 件	2 1 件	4 件			

利用日数 97日 稼働率 31.3%

(3) 観光案内看板設置事業

皆生温泉街において日英表記の観光案内看板（4基）を新設した。

また、城下町エリアの観光看板（1基）の多言語表記（英・中・韓）の修正を行なった。

事業費 1,892,000円